

2018年1月19日

課題名：ALアミロイドーシスに関する造血幹細胞移植の後方視的検討 二次調査

◆研究の目的と概要◆

本研究は、ALアミロイドーシスに対して同種造血幹細胞移植を施行した方についてモノクローナル免疫グロブリン（M蛋白）の軽鎖（L鎖）に由来する不溶性アミロイド蛋白が臓器に沈着して起きている臓器障害を調べることによって、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

1999年12月から、2015年12月までの間に、ALアミロイドーシスであると診断された（同種造血幹細胞移植施行の）方。

◆研究に使用される情報・試料◆

日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）/日本造血細胞移植学会（JSHCT）の実施する全国調査に登録してある1999年12月～2015年12月までにALアミロイドーシスと診断された4例のデータを提出します。

◆研究方法◆

調査用紙を、個人情報が出られないようにしたうえで、下記機関に対して追跡可能な郵便で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学高松博幸医師が主体となって実施しており、全国のTRUMPに協力している施設が参加しています。

http://www.jdchct.or.jp/study/trial/dc_2017_2.html

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

血液内科 研究責任者 上田 恭典

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明